

都市情報銀行の提案

都市データの現状・都市システムデザインのためのデータ連携の要件

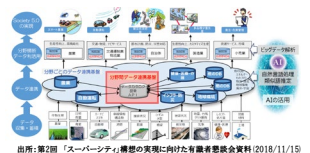
次世代スマートシティでは、様々なステークホルダーが収集するデータの連携を前提として、道路・電力・ガス・通信や防災・福祉などの公共的事業を含む都市・地域に貢献する事業を創出することが求められる。

データ連携に求められる要件

- ①透明性
背景：信用のあるステークホルダー間でデータの提供・利用がなされる公正な仕組みが求められる
データ提供者：一定の仕様と品質を満たし、適法・適切な方法で収集されているデータを提供
データ利用者：提供者との契約に従い、適法・適切な方法でデータを利用
- ②手続きの集約化
背景：個人情報保護法をはじめとして多岐にわたる法令や社会念が関連
現状：法令等に従ってデータ所有者や被観測者への承諾・データを所有しているステークホルダーごとに異なる適切な契約を結ぶ必要



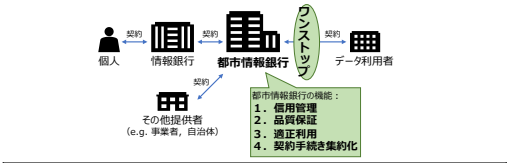
人流や経済活動、エネルギー、医療の分野などにわたる様々なデータが多様な目的で日々収集されている（例：人流データ）



情報銀行をはじめとした個人情報流通の取り組み、都市OSなどのプラットフォームの整備、自治体等による官民データ活用の推進など、データ連携のための情報システム整備、制度設計が本格化しており、データ連携・流通にむけた取り組みが重点的に実施されている

都市情報銀行の提案

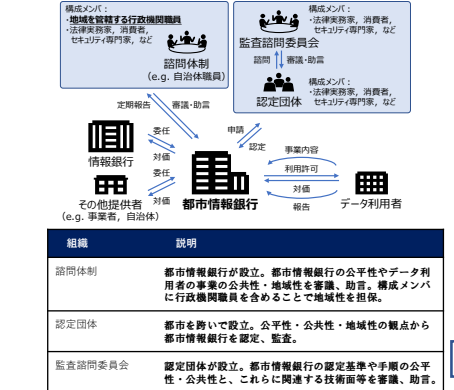
都市・地域で収集されるデータを連携し、都市・地域の持続的な発展に寄与する事業につなげるために下記要件を実現する機構
要件①：データやその背景に関わる（データの）透明性の担保
要件②：データ取引・利用に関わる契約・法令等の煩雑さの軽減による流通コストの低減



要件	機能	説明
①データの透明性の担保	信用管理	適法・適切な方法でデータ収集を行い一定の仕様・品質通りのデータを提供する提供者が、データの適正な利用者が、過去の実績や事業内容等から信用情報を管理
	品質保証	適法・適切な方法でデータが収集・作成されているか、契約に基づいた仕様と品質でデータが提供されているか検証し、適法・適切な方法でなかったり契約と異なれば是正勧告
	適正利用	契約や社会念に従って適法・適切な方法でデータが利用されているか、トレーサビリティやアクセス履歴から検証
②データ取引・利用に関わる契約・法令等の煩雑さ軽減	契約手続き集約化	データ提供者との契約手続きを仲介し集約 提供者の例：人流情報を有する携帯電話事業者、個人情報情報を有する情報銀行等（都市情報銀行が提供者となるの可）

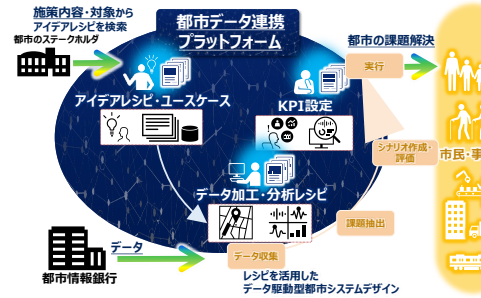
都市情報銀行のための制度設計について

都市情報銀行の業務：都市・地域に貢献する事業に必要なデータとを識別し、これに関わる契約手続きの集約化を実施
= 特定の提供者・利用者に対するデータ利用を促進を行うため、都市・地域及びデータ提供者・利用者の信任が必要
= 業務の公平性・公共性・地域性を担保する仕組みが必要



都市データ連携プラットフォーム

データ分析・サービスアイデアの知見を“レシピ”として共有し、データ利用に掛かるコストを低減し、データ利用を促進活用することを目指した連携ツールを提案



要件	機能	説明
サービスアイデアの創出支援	加工 データ加工 レシピ	データ集計・整形など、分析に必要なデータ・フォーマットへの加工を支援
	分析 データ分析 レシピ	可視化やシミュレーション等により、施策に関するKPIの導出を支援
	評価 アイデア レシピ	施策におけるKPI間の関係性を提供し、KPIに基づいた施策の評価を支援
	蓄積 ユースケース	具体的な施策と、それを適用したときの効果を、過去の事例として蓄積

レシピ検索のイメージ データ分析レシピ例



アイデアレシピ例



マップ画面による施策検討支援



プラットフォームのデモをご体験ください